

第 52 回高齢者排泄ケア講習会

アンケート集計結果

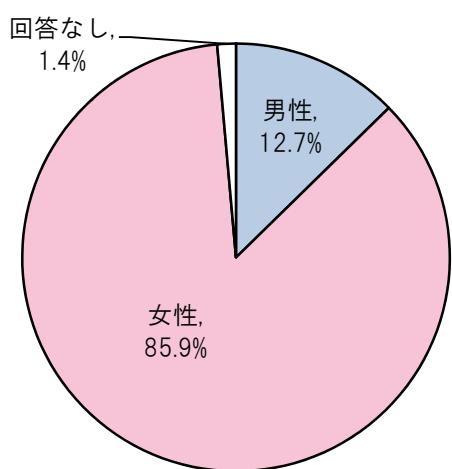
* H29.8.18 (金) 実施

会場： 福岡国際会議場

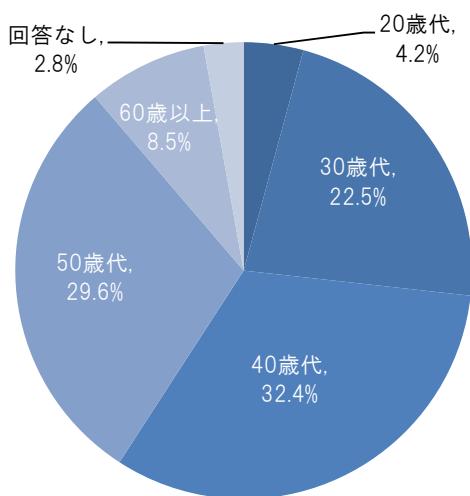
講習会参加者 85 名／アンケート回答者 71 名（回答率 83.5%）

■ あなたご自身についてお伺いします

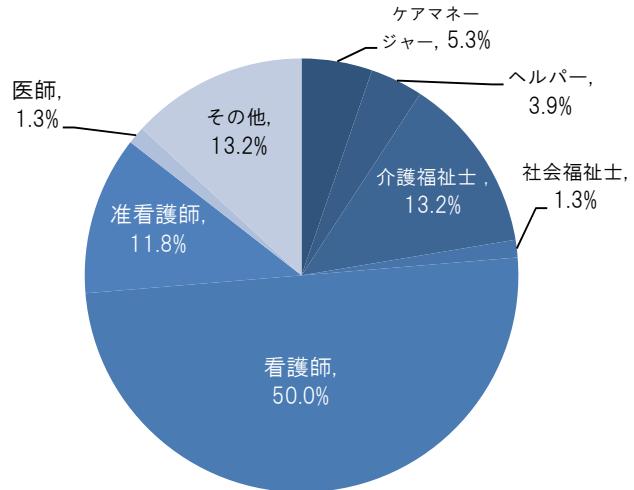
1】性別



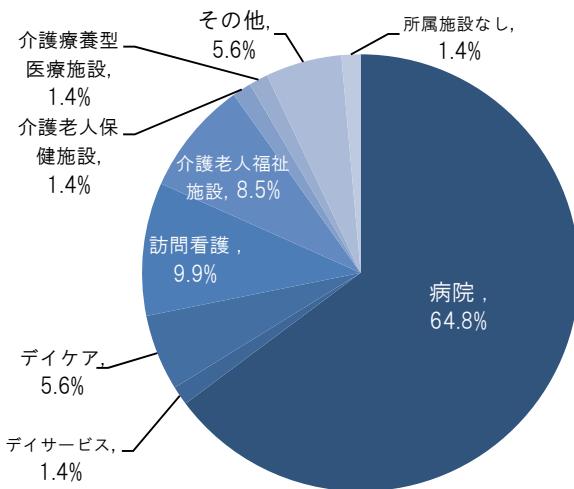
2】年齢



3】職種

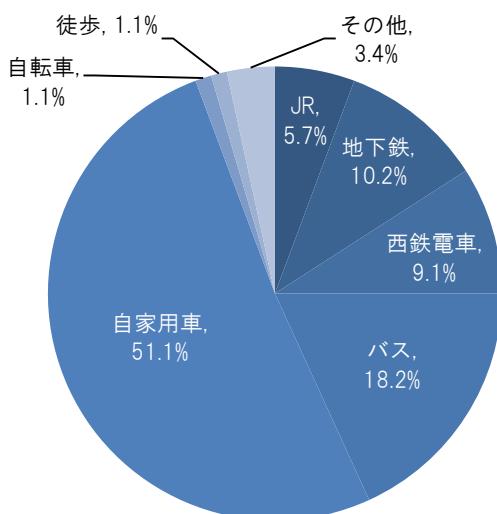


4】所属施設

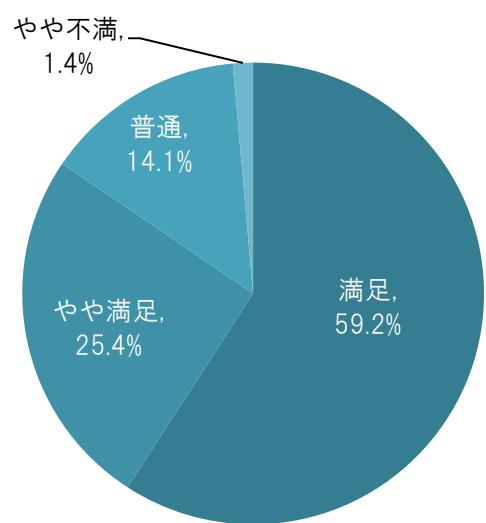


■ 高齢者排泄ケア講習会についてお伺いします

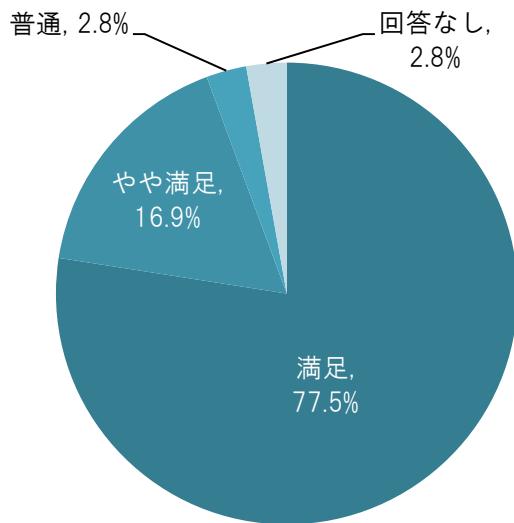
1】ご来場の際に利用された交通機関



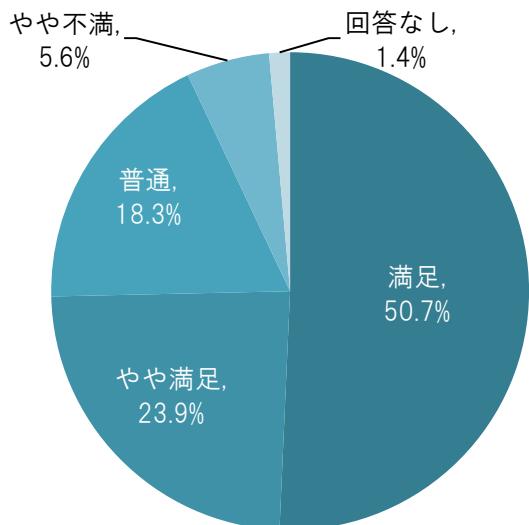
2-1】本日の講習会の内容について
『生活の質の改善に向けた排便コントロール
～栄養士の視点からの取り組み～』



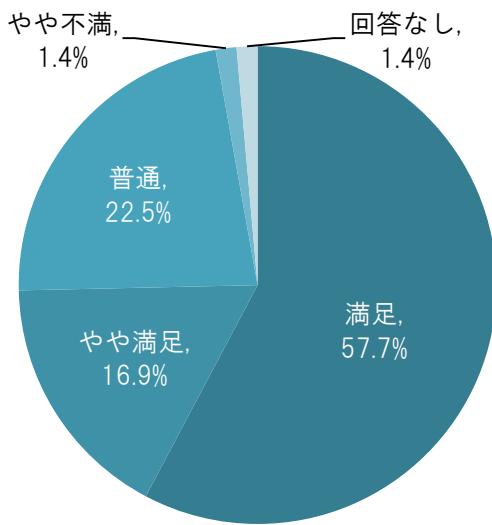
2-2】本日の講習会の内容について
『高齢者の暮らしに寄り添う排便ケアの提案
～できるだけ薬剤に頼らないチームケアへ～』



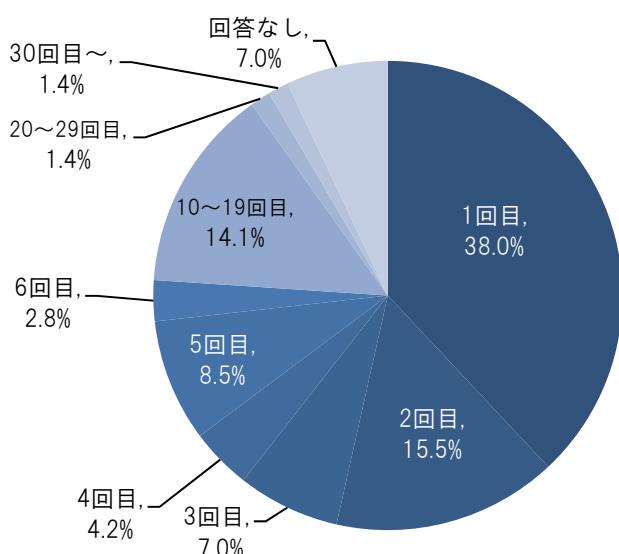
3】本日の講演時間について



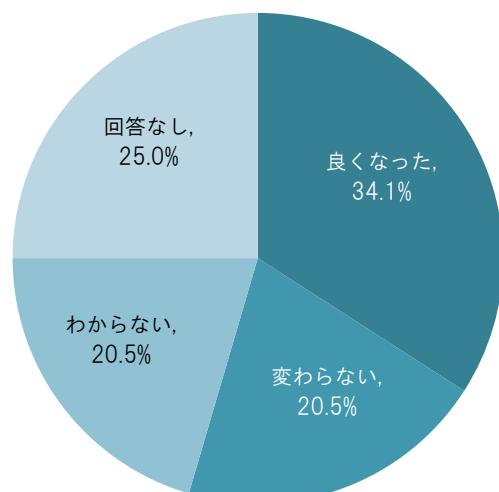
4】本日の会場について



5】今回でこの講習会は何回目のご参加ですか？



6】複数回参加されている方にお尋ねします。
この講習会に参加することで、あなたが所属している施設の排泄管理の状況はよくなりましたか？



6】 皆さんにお尋ねします。排泄管理の状況の改善についてなにかご意見がございましたら、ご記入ください。

- ・ 入院する Pt さんの 90%がパスを使用。その指示の定形分がすでに 3 日目でセンノシドが登録されている状況で、Ns のほとんどがその指示通りに動いている。そこを改善したい。
- ・ 当院ではサンファイバーは経管栄養の人に主に使っているけど、1 日量として少ないのかなと今日の話を聞いて思ったりしました。
- ・ 排泄に至るドラマの漫画があれば取り組みやすくなりそうです。
- ・ 排泄管理の状況が良くなつたと言えるように頑張ります。
- ・ 刺激性下剤減量（中止）の取り組みを日看協学会で発表し、論文にもなりました。6 ～7 年前のこちらの講習会がきっかけでした（神山先生の講義でした）。今後も院内でコツコツと下剤に頼らない排便管理を続けようと思います。いつもありがとうございます。

7】 今後、講習会で取り上げてほしいテーマやご要望など、ご意見がございましたらご記入ください。

講習会の感想など：

- ・ 薬にたよらず、生活の質、食事、運動等に注意しながら、一人一人に寄り添える排泄ケアが出来る様、向き合っていきたいと改めて感じました。本日はお忙しい中、この様な機会に参加させて頂き、ありがとうございました。
- ・ 最初の講演は資料の順番がバラバラで見にくく、資料を探してついていくのに必死になって聞きのがすこと也有った。
- ・ 参加する度に自分の所属先のチームに還元したいと思っています。ありがとうございます。時間が足りなかった。もう少し聞きたかった。
- ・ 講習会の時間帯は昼間がよい。

講習会で取り上げてほしいテーマ：

- ・ 排便姿勢やマッサージ、リハビリ
- ・ 薬剤師：薬と排便コントロール
- ・ オムツ使用時、ずらしはずしの原因及びその対策（特に触るくせや習慣について）。オムツ使用の工夫—認知症 Pt の体動時のズレ防止の工夫。
- ・ 感染予防と実践的なオムツ交換の方法
- ・ 排尿日誌のつけ方や具体的な解釈の仕方など
- ・ 抗がん剤服用での副作用による下痢、便秘に対する管理法、食事による排便管理